



担任の先生どこかな  
西川小学校入学式

# 西川町 議会だより

2016.4.15 96号

発行 山形県西川町議会

3月定例会報告	2頁
補正予算	6
議会の動き	7
予算審議	8
一般質問	12
追跡調査	18
議会研修会	19

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。



# 3月定例会

# 大規模事業の早期完成を望む

過去最大の予算 60億3,300万円

**設備内容は**  
①町内30か所に屋外拡声スピーカーを配置し、うち14

住民に対し、防災情報を迅速かつ的確に伝達を行うことにより、災害に強い安全・安心な町づくりが重要です。  
そのために平成28年度は、同報系防災行政無線を整備します。この設備により、一度に不特定多数の町民に対し、同じ内容の情報を短時間で提供することが可能になります。  
また平常時でも、火災予防週間や行政情報、定時放送等にも利用できます。5年前の東日本大震災や、25年7月の豪雨災害などを教訓にして、町民の生命財産は町が責任を持って守れるよう、議会も協力していきます。

**同報系防災行政無線を整備 総額6億5600万円**



寒河江市内の屋外拡声スピーカー

か所には役場と交信できる機能を持たせます。このことにより町とそれぞれの地区が、同時に双方向で会話ができるので、お互いの意思の疎通が図られます。  
②冬期間は雪囲い等で情報が伝わりにくいので、全世界と公共施設等に室内の戸別受信機を設置します。

**今後の予定は**  
機器製作が終了した28年9月から設置工事を始め、29年3月に運用説明をして4月から運用開始予定です。

**工事費は**  
本体工事費と解体費用等を合わせて8億5600万円になります。工期が28年度と29年度の2か年にわたることから、28年度は4億7200万円を予算化しました。

平成23年から、幾度となく議論や検討を繰り返した町民体育館が、やっと28年度予算に計上され新築工事の概要が議会に示されました。  
現体育館を解体し同じ場所に建設します。鉄筋コンクリート造2階建てで、アリーナを1階に、2階には観客席やトレーニングルームを設置します。議会に要望してきた、内壁や床材にできるだけ町産材を活用することは生かされます。

**町民体育館新築は 総額8億5600万円**



新築体育館のイメージ図

**今後の予定は**  
現体育館の解体工事は、28年6月から7月までの2か月間です。その後8月から新築工事を始め、外構工事と合わせて29年6月で完了し、7月に新たな体育館が使用できる予定です。

# 特別職の職員の給与に関する条例 前代未聞 最終日の朝に訂正なぜ?

平成28年3月定例会は、3月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。  
町からは監査委員等の人事案件、平成27年度一般会計補正予算、平成28年度各予算の承認を求める案件をはじめ、10件の条例改正、2件の条例設定が提出され、慎重に審議した結果、1件の条例が賛成多数、その他の案件は全員賛成で可決しました。また、2件の請願が提出され、2件とも採択し意見書を提出しました。  
一般質問は6人の議員が行いました。  
(3月7日1人欠席)

## 町長等町三役の給料はどうする

定例会に上程される議案の説明が、2月19日議会運営委員会で行われました。  
町からは三役の給料を数%ずつ引き上げる特別職報酬条例の改正案(別表参照)が示されました。一部議員から疑問の声が上がり、次の理由で現状維持であるべきとして修正動議を提出する準備をしました。

- 理由1** 今回も事前に何ら相談もなく議会軽視であること。
- 理由2** 財政状況の見直しでは、町税で人件費が賄えないこと。
- 理由3** 財政調整基金・減債基金(町の貯蓄)の残額は26年度27億8千万円で、32年度は14億円に減少する見込みであること。
- 理由4** この状況下では町民に理解を得られないこと。また、今回の改正に対する町長自身の考えが明確でないこと。

- 質疑・応答**
- 問** 特別職報酬等審議会にきちんと諮ったのか。  
**答** 審議会からは「減額の必要はない。削減幅は町長判断とする」と答申を受けた。
  - 問** それでは町長の判断で三役の給料を数%上げたのか。またなぜ20日間もそのままだにしておいたのか。  
**答** いろんな意見があった。状況を勘案して最終日になった。
  - 問** 訂正でなく修正ではないか。  
**答** 手違いがあった。訂正で理解して頂きたい。
  - 問** どんな手違いか。  
**答** 内部では修正幅を議論していた。また管内町村の動向を注視していた。この経験を生かし今後注意したい。
  - 問** 重要な条例を審議当日に変更することは、議会との信頼を損なうことです。質疑も規則により一人3回までの制約があり、十分な議論ができません。訂正案を認めざるを得ませんでした。  
**答** 執行部には、大いに反省してもらいたいと望みます。

三役の給料月額 ( )内は削減幅

	正規額	27年度	"28年度当初提案"	"最終日に提出された訂正案"	"議員修正予定案"
町長	82万円	65.5万円(20%)	73.8万円(10%)	65.5万円(20%)	65.5万円(20%)
副町長	63.5万円	57.15万円(10%)	60.3万円(5%)	57.15万円(10%)	57.15万円(10%)
教育長	57.5万円	54.6万円(5%)	55.8万円(3%)	54.6万円(5%)	54.6万円(5%)



# ◆条例案件はすべて可決◆

## 町が目的を持って新たに作った条例及び改正した条例 4本

西川町長期賃貸住宅条例の設定	全員賛成
西川町特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定	全員賛成
西川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定	全員賛成
西川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	賛成8 反対1

## 国の法律の規定や改正に伴い整備された条例 8本

西川町行政不服審査会条例の設定	全員賛成
西川町町税条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成
西川町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成
行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	全員賛成
西川町情報公開条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成
西川町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成
西川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成
西川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成

### 人事案件

- 西川町固定資産評価審査委員会委員  
再任 澁谷健悦さん（大井沢） 全員賛成
- 西川町教育委員会委員  
再任 近松和朗さん（水沢） 全員賛成
- 西川町町有林運営委員会委員  
再任 渡邊久一郎さん（睦合） 全員賛成
- 再任 荒木周一さん（間沢） 全員賛成
- 新任 松田昌一さん（吉川） 全員賛成
- 西川町監査委員  
新任 高橋 将さん（吉川） 全員賛成



▶ 工事中のあづま橋

### あづま橋架替工事

橋脚工事を川の中で施工するために水を締め切る工法を変更したため、約3千万円増の契約変更を行いました。完成は平成28年11月中旬予定です。

### 長期賃貸住宅

子育て世代の人口増加及び若者の定住化を図るために5棟建設予定です。募集は平成28年4月から8月で、予算総額は1億円です。

### 請願審査

- 奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める請願 全員賛成で採択
- TPP協定を国会で批准しないことを求める請願 全員賛成で採択



# ふるさと納税返礼は町産品の活用を



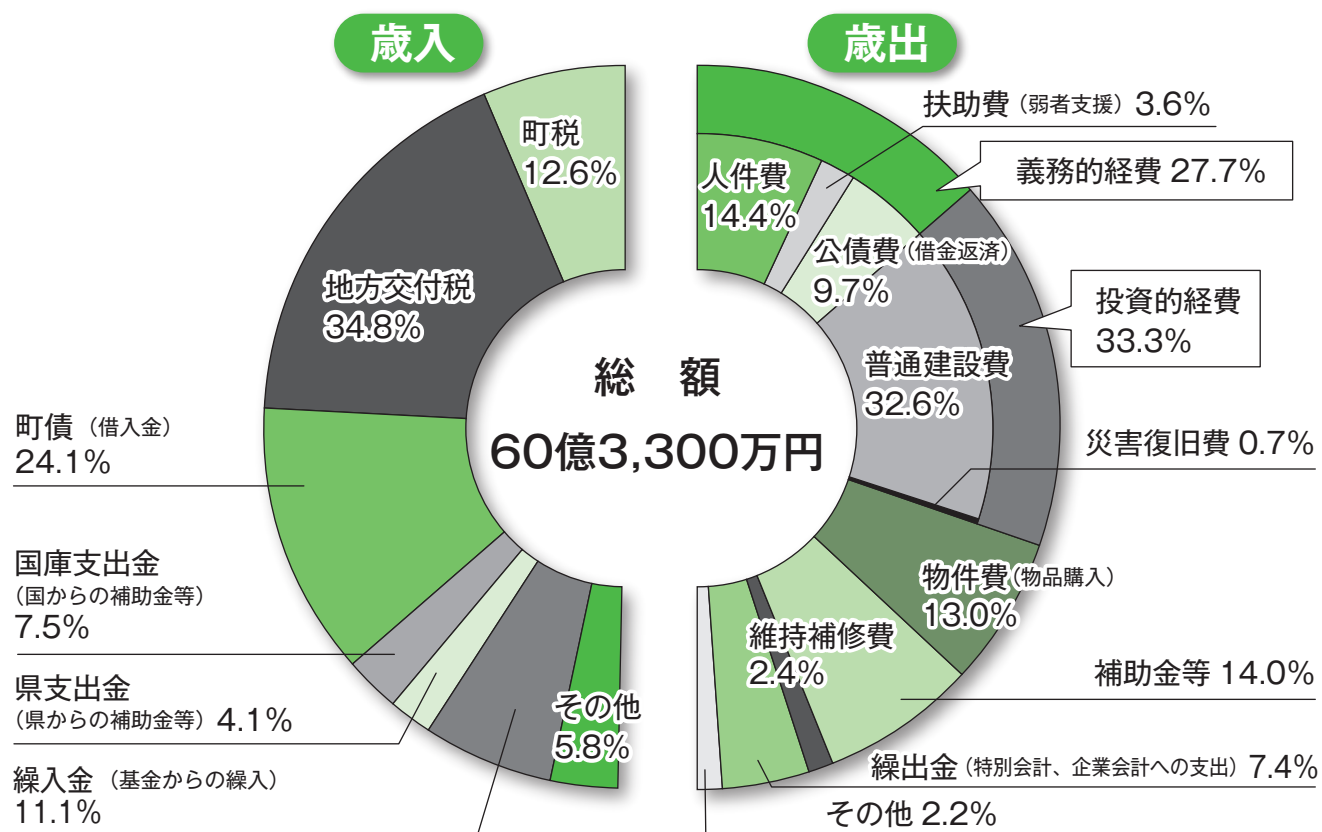
▲ 返礼品として発送待ちの山ノ自然水

特記する平成28年度予算の中の事業の一つは、ふるさと納税対策事業です。26年度の寄付件数は85件で、金額は763万円です。27年度は3918件で5784万円（3月8日現在）と大幅増になりました。28年度は27年度並みの寄付金を見込んでいます。そのうち寄付者の方への返礼品の予算は2600万円です。寄付金の半分を占めています。

返礼品の主なものは、1位山形牛のすき焼き用1073件、2位山形肩ロースすき焼き用678件（限定1千セット）、3位山形県産リンゴとラフランス詰合せ577件です。

食肉関係が全体の55%で、町外の山形県食肉公社に依頼しています。返礼品には町内経済活性化のため、町産品をもっと活用する工夫が必要です。

## ◆一般会計予算の構成



# 平成27年度 補正予算

一般会計の歳入歳出予算の総額から、それぞれ1,900万円を減額し、57億5,523万円になりました。

## 質疑・応答

### 山形どまんなか探訪プロジェクト会議負担金

**問** 会議負担金で行なった、やまがた雪フェスティバルを西川町で実施できないものか。

**答** 西川町にも相応の経済効果が上がるよう県に要望している。

主な補正内容は、救急患者受入体制支援事業272万円、保険財政共同安定化事業拠出金305万円の追加、人件費130万円の減額等です。

### ☆農業集落排水事業特別会計

歳入歳出に58万円を追加し、2622万円となりました。

補正内容は、本道寺月岡地区マンホールポンプコントロール更新工事の追加です。

### ☆介護保険特別会計

歳入歳出から716万円を減額し、7億3095万円となりました。

補正内容は、介護予防サービズ給付金300万円の追加、居宅介護サービズ給付金1310万円の減額等です。

## 主な補正予算

(万円未満四捨五入)

### ■一般会計

月山ジオパーク推進協議会	300万円
ふるさとづくり基金積立金	835万円
水沢温泉館太陽光発電設備設置工事	▲422万円
灯油代補助金	170万円
臨時福祉給付金	2,624万円
病院事業会計繰出金	3,000万円
戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金	▲831万円
小水力発電事業負担金	▲988万円
山形どまんなか探訪プロジェクト会議負担金	648万円
根子川橋橋梁補修工事	940万円
本道寺橋橋梁補修工事	▲765万円
町道梅沢根際線歩道整備工事	▲2,438万円
除雪機購入費	▲662万円
長期賃貸住宅実施設計委託費	▲300万円
防災行政無線実施設計業務委託費	▲583万円
公共災害復旧工事	▲911万円

### 特別会計 補正予算

☆国民健康保険特別会計  
歳入歳出に569万円を追加し、7億7920万円になりました。

▶やまがた雪フェスティバル



## 全国町村議会 議長会表彰

前議長

井場 榮治さん（水沢）

井場さんは平成15年5月から3期にわたり町議会議員、23年5月から議長として町議会の活性化にご尽力されました。さらに山形県町村議会議長会の理事としても活躍し、地域の振興発展の貢献の功績が讃えられ、このたび特別表彰を受賞されました。



### コメント

自治功勞に少しでも役に立つことができたのかなと感じています。今後とも西川町が安心して暮らせるような町づくりを期待します。

## 山形県町村議会 議長会表彰

議会だより第92号が山形県町村議会議長会広報コンクールにおいて、佳作に選ばれました。



審査結果  
特選 川西町議会  
★入選 大石田町議会  
白鷹町議会  
三川町議会  
★佳作 西川町議会  
大江町議会  
河北町議会

議会だよりは、文書アドバイザーやモニターなど多くの皆さんの協力をいただきながら編集しています。今後とも町民の方々から親しまれる広報誌を目指してまいります。



▲表彰を受ける佐藤耕二編集委員長

## 議会の動き

- 議会全員協議会
    - 2月17日 平成28年度予算（案）等
    - 3月9日 長期賃貸住宅等
  - 議会運営委員会
    - 2月19日 第1回定例会の運営
  - 総務厚生常任委員会
    - 2月4日 事務調査「町立病院」
    - 3月7日 請願審査等
  - 産業建設常任委員会
    - 2月3日 事務調査「総合産業」
    - 3月7日 請願審査等
    - 3月11日 今後の事務調査
  - 広報公聴常任委員会
    - 2月26日 議会だよりレイアウト会議
    - 3月8日 継続調査事項
    - 3月22日 編集会議
    - 3月24日 編集会議
    - 3月31日 第1回校正
    - 4月4日 第2回校正・アドバイザー指導
    - 4月6日 第3回校正
    - 4月8日 第4回校正
- (2月19日議会運営委員会1人欠席、3月7日総務厚生常任委員会1人欠席、その他全員出席)



# 平成28年度の予算を 審議しました

平成28年度予算は、予算特別委員会を設置し慎重に審議され、すべて可決されました。特別委員会で出された主な質疑内容は次のとおりです。

## 18歳選挙啓発

**問** 参議院議員選挙から18歳以上に選挙権が与えられる。投票率を上げるために、啓蒙活動をどのように行うのか。

**答** お知らせ等による広報、街頭啓発等でも呼び掛けを行なっていく。

## ハザードマップ

**問** 27年度で完成ということだったが、まだできてない地区はあるのか。

**答** 全地区完成となった。28年度は、各施設に

掲示する拡大版を予算化している。



▲間沢地区のハザードマップ

## 移住サポートセンター

**問** 移住サポートセンターはいつ設置し、どのような活動をするのか。

**答** 1月に設置し、移住希望者の窓口を1か所で行うよう、関係各課で定例的に会議を行なっている。また、全国で行われている移住相談イベントに参加し、町の情報

を発信している。

## 里山社会文化研究所

**問** 10人程度の所員の想定であるが、人選は決定しているのか。

**答** 町が提携している4つの大学の先生方、民間の経営の分かる方、観光戦略の分かるコンサルタント等の方を想定している。

## (緑)環境自然学習センター

**問** 親しまれる施設と名称にできないか。また常駐することが必要と思うがどうか。

**答** 学校の利活用、町民の利活用ができる施設にしたい。

## コミュニティカフェ立ち上げ

**問** 若者等が交流する場が少ない。何とか町民のニーズに応えることができないか。

**答** 町で喫茶店を営みたいという人がいない。地域おこし協力隊で実施していきたい。建物は東北電力の跡地の改修を考えている。



▶海味にある東北電力の建物

## 町民温泉無料開放日

**問** 26年度の実績は。

**答** 26年度は7551人の利用があった。27年度はふるの日(26日)を追加したこともあり、1万2781人が利用した。

## 保育園の遊具改修

**問** なぜ改修が年内に終わらなかったのか。

**答** 限られた財源(地方創生)を有効活用し、一部を着手した。28年度早急にすべり台、ネット等を完成する。

## 水田畑地化整備事業

**問** 27年度申請がないとのことだが、耕作放棄地や畑作のブランド化の推進を考えれば、少しずつでも畑地化を進めるべきではないか。今後の方向性についての考えは。

**答** ブランド化と生産向上を図るため、経営安定対策として考えていく。

## 民生委員の選任

**問** 選任方法はどのようなものか。

**答** 基本的に区長を通じて推薦している。各地区で取り扱いがまちまちであるとの声があるので今後徹底していきたい。各地区から推薦してもらい、推薦会で審議し、決定する。

## ふるさとCOM

**問** ふるさとCOMは注目度が高い番組だ、作品の度合いを高度にしてほしい。

**答** 今年度は少々不評な部分もあった。決意を新たに取り組んでいく。

## ホームページ(HP)の更新

**問** HPの運営は更新が良くなっている。業者に依頼している部分はあるのか。

**答** 骨格の部分は業者に依頼しているが、それ以外はすべて各課で対応している。

## 民生委員の選任

**問** 選任方法はどのようなものか。

**答** 基本的に区長を通じて推薦している。各地区で取り扱いがまちまちであるとの声があるので今後徹底していきたい。各地区から推薦してもらい、推薦会で審議し、決定する。

## ブライダルサポート

**問** 結婚適齢期に結婚を促すチラシや、子育て支援が分かるものを、配布することはできないか。分かっているのと、分からないのではだいぶ違うはずだ。

**答** 本町の取り組みはまだまだ周知徹底が足りないかと反省している。しっかりと対応したい。

## 認知症カフェ(認知症総合支援)

**問** どういうものを想定しているのか。

**答** 専門性が高いので、「ケアハイツ西川」と、今建築されている「とこしえ西川」に開所を考えている。いろいろな相談や交流が気軽にできるようにする。

## 子ども子育て支援事業

**問** 保育関係は規制緩和で企業が参入できるようになった。自治体中心でやってほしい。

**答** 子育ては町が責任を持って行う。





**（株）米月山・  
発芽胚芽米**

**問** 付加価値を付けて、大きな期待の中で、操業だったが、消費者に受け入れられなかった。大きくかじを切らねばならないのではないか。今後この会社をどのように経営していくのか。

**答** 米の仕入れ価格が安くないので、将来は稲作を受託し継続していく。



▶吉川にある（株）米月山

**月山銘水館  
リニューアル**

**問** 直売所と屋外トイレの解体はいつからか。

**答** 4月に入ったら、すぐ着工し、4月21日のオープンまで完了する。



▲銘水館前の解体中のトイレ

**青年就農給付金**

**問** 現在4人に給付しているが、国からの補助金だけでなく、町独自の嵩上げも必要ではないか。

**湖月山荘**

**問** 湖月山荘を解体してはとの意見があるが、どの程度まで検討しているのか。

**答** 現在はカヌー艇の置き場になっている。カヌー艇庫の予定が決まっていなため解体できない。



▶1階がカヌー艇庫になっている湖月山荘

**答** 町独自で農業機械の購入時の補助や、生活支援補助を行なっている。

**総合産業**

**問** 町として、総合産業を育てるには各種団体等への補助だけでなく、根本的に何が必要だと考えているか。

**答** 一つ一つの事業をしっかりと捉え、総合産業基盤を強化していくことが必要と考える。

**月山のめぐみ  
活性化事業**

**問** 納得した話し合いを生産者、団体、地域の方々としているのか。

**答** 定期的に話し合いをしている。職員が入って調査し、地域支援職

員も入って話し合いを持っている。どうやったら産地を守っていけるのかも含めて検討している。加工グループにも説明をしている。

**農業施設修繕支援**

**問** 農業施設の修繕支援補助金は何パーセント補助か。

**答** 農業受託組合等機械修繕支援はあったが、施設についてはこれまで対象にしていなかった。団体との話し合いの中で要望が出て、現在は機械と同じ3分の1を補助している。

**月山スキー大会  
開催**

**問** 県内外から注目の、月山スキー大会が濃霧、雪不足でここ2年中

**防犯灯のLED化**

**問** 29年までの5か年計画であるが、進捗状況は。

**答** 計画は912基あり、27年度で810基が終了した。進捗状況は88・8%である。



▲下堀地区のLED化になった防犯灯

**外国語指導助手  
の招致**

**問** 町長は英語に力を入れると言ったことだが、

新規の方の招致の見通しはあるのか。

**答** 英語指導助手を派遣する団体「JET」へ要望している段階で、回答はまだないが、至急確認をとりたい。

**郷土史資料整備  
調査の出版**

**問** 膨大な調査資料があると思うが、出版の予定はないのか。

**答** 町史ダイジェストを作ってほしいと調査員に話しているが遅れている。いつ出版できるかわからない。

止になった。今年の日程をどのように考慮したか。

**答** 28年は4月17日、早めに開催する。

**映画「いしゃ先生」**

**問** 診療所を借用しているが、どのように観光に結び付けていくのか。

**答** 映画のPRを兼ねた資源としている。春になり、映画を見た方が来館するのに活用していきたい。



▲ロケ地になった診療所

**全国中学校カヌー  
大会の案内看板**

**問** 全国からの選手、役員、保護者等が訪れる時に、歓迎の意をこめて、にぎわいのある看板等で案内をしてはどうか。

**答** なかなか看板まで手が回っていないのが現状で、ぜひにぎわいのあるように検討していきたい。



▶べにばな団体の看板

**問** 町道の認定廃止があり、差し引きすると延長2キロ減少するが、交付税影響額は。

**答** 精査をしないと詳しくは分からないが、210万から220万円の減額になるかと考えられる。

**町道の認定廃止**

**答** 組織検討委員会の中で話し合いをしているが、事務局長を単独に置くべきとして、確保を念頭に予算計上している。

**月山朝日観光  
協会の自立化**

**問** 自立化に向けて、専任事務局長の設置という説明があったが、どういう状況か。



# 一般質問

## 未来を託す 5,000人を割らないたくましい元気なまちづくりを

### 町長 若者が住みたいまちづくりを推進する



奥山 敏行 議員

**問** 教育振興基本計画と町の人口減少問題を担う子どもに対する考え方と、子どもたちが里山に入り遊べるまちづくりの投資をどのように考えるか。

#### 子供たちに未来を

西川小学校に統合して5年目に入り、旧西山小学校の生徒を除き、スクールバス通学になり各地域から道草通学が消え、子どもたちの遊ぶ姿と声も消え、自然の中で元気に遊ぶ子どもたちはどこへ行ったのか。

**答** 28年度に学校運営協議会を設置し、地域と連携した活動が今まで以上に期待される。町では、放課後子ども教室や少年少女自然塾など他市町村では見られない充実した活動を行なっている。西川町に住みたいという大人に育ってほしいものと期待している。



▶自然塾春のプログラム

**問** 西川町の自然を知らずに子どもたちが育っている。自然の中での体験活動を今後どのように取り組んでいくのか。

#### 大切な地域の力

小学校1年生から発達に応じて、町内各地の自然、文化、歴史に触れる学習課程を組んでいる。

#### 大事な自然教育

**問** 学校ではどのような自然教育を行なっているのか。

**答** 小学校1年生から発達に応じて、町内各地の自然、文化、歴史に触れる学習課程を組んでいる。

#### 地域崩壊のまえに

**問** 地域の人も減っている中で、町が考えている地域コミュニティの構想はどのようなものか。

**答** 通学の見守りなど誰でも学校に関わる場を作っていきたい。また、地域が主体となつて子どもたちと関わるような機運を醸成したい。

#### 大切な地域の力

**問** 学生が地元に戻つての就職を考えることのできる町づくりと、西川町がその先の5千人を割らない人口形成をどのように考えて計画しているのか。

**答** 学生が地元に戻つての就職を考えることのできる町づくりと、西川町がその先の5千人を割らない人口形成をどのように考えて計画しているのか。



▶元気な子どもたち

**答** 本町の就職に関わるキャリア教育(職業教育)は、中学2年生

# 一般質問

## みどり団地 早期完売を目指す強化策について

### 副町長 プロジェクトチームで具体策を話し合っている



佐藤 幸吉 議員

みどり団地の完売に向けた取り組みは、町のイメージに大きな影響を及ぼし、人口対策のみならず町の魅力づくりの上でも大切な事業である。

#### 効率的な住宅団地販売を

**問** 分譲地販売、町営住宅管理に空き家管理等の担当を加え、現在担当である建設水道課から独立し効率的な運営をしようか。

**答** プロジェクトチームで具体策を話し合い、担当する部署で事業を進めていく。

#### 町内業者とともに

平成24年の質問では、「建設組合などの協力の下、西山材を利用したモデル住宅を建てたい」と回答があったが、今はその考えはないか。

#### アパート形式に

**問** 若い人のニーズは一般住宅よりアパート形式なのではないか。団地の区割り計画の見直しを図り、そのニーズに定める考えはないか。

#### 話し合いを

**問** 既に住んでいる方との話し合いをし、販売に結び付くヒント



▶満室の若者住宅

を得てはどうか。

**答** 規模の小さい座談会を28年度に行いたいと考えている。さらに年齢別や、女性の方のご意見も含めて、団地に特定した座談会も前向きに考えていきたい。

#### 長期賃貸住宅

**問** 建設並びに販売計画を具体的に教えしてほしい。

**答** 長期賃貸住宅の用地を分譲地5区画の部分にしたい。

一定期間(25年間)賃貸住宅として入居し、その後入居者へ無償譲渡するものである。戸建て住宅とし、先に入居者を応募選考し、町が定める予算(2千万円)の範囲内で入居者の要望に応じた間取りや設備内容により設計建築できる。



▶みどり団地内に計画された長期賃貸住宅敷地

入居要件の主なものは、概ね40歳までの夫婦であること、25年以上居住すること、一定の世帯所得があることなどである。

家賃は月7万円、3か月分の敷金を要する。入居者のメリットも大いにあり、固定資産税25年分、住宅ローン返済利子、土地代など約1120万円と試算している。



一般質問

地方創生 起死回生の取り組みを

町長 月山周辺の広域連携を強化する



飯野 咲子 議員

地方交付税制度は、国民がどこに住んでも標準的なサービスを受けられることを可能とする制度であるのに、トップランナー方式が導入された。地域創生関連の交付金も基礎交付という全自治体配分はあるものの、コンペ方式に切り替えられ、競争でつかんだ交付金の使い道は。



「総合戦略」計画書

**問** 現在、公開中の「いしや先生」に対する町からの補助金はいくらか。また、寄付金等、全ての収入と支出は。

**答** 「志田周子」資源活用化実行委員会へ110万円、志田周子の生涯を銀幕に魅了せる会へ1千万円、大井沢診療所跡を一般開放するための整備費用と、全国女医サミットの開催費用へ約1千万円、専従職員分として137万8千円を支出した。

町からの補助金は

月山ジオパークの今後は

**問** 「東北・月山の豪雪」暮らしと祈り「インバウンドジオツアー事業」の進捗状況と今後の方向性は。

**答** 2月中旬から3月中旬までの受け入れで、海外を含め誘客数は1千人である。ツアー終了後に開催するジオツアーフォーラムで、月山ジオパークの取り組みの意義や成果を確認し、新年度の認定申請作業につなげ、月山周辺の広域連携をさらに強化していく。

ように検証されたか。なぜ西川町で開催しなかったのか、広域連携であれば、来年は1市4町での話し合いで決めるようにすべきではないか。

具体的対策を急げ

県に対しては、それぞれの市町村に経済効果のある方向で進めるよう要望している。

**問** 山菜等の苗木の幹旋を行なって20年になる。幹旋はしたが後継者が不足し、せつかくの山菜が枯渇する恐れがある。もっと座談会等で話し合う必要があると思うがどうか。

**答** 来場者数は、16万1千人であった。詳しい分析は、実行委員会で話し合うが、冬季誘客の大きな柱となると総評され、県知事は来年度も継続する意向を示している。各市町村で受け入れ可能か、



▶やまがた雪フェスティバル

雪まつり

**問** 西村山広域観光戦略推進事業の1億4900万円は「やまがた雪フェスティバル」として、寒河江市で実施されたが、どの

**答** 昨年、山菜きのこ等生産協議会を立ち上げた。町内の15団体をまとめて、きのこ生産に取り組んでいる。現状の把握等、地域の方と話を進めている。地域の農業の担い手、農地集約も含め、営農体制の話し合いを毎年進め、昨年は全地域で人・農地プランを作成した。

一般質問

総合産業 数値として成果が上がっていないが

町長 少しずつ成果が上がっている



横山 修 議員

町長が総合産業化に取り組んで10年になるが、成果が見えてこない。町長のこの事業のこれまでの評価と、今後の進め方について所見を伺いたい。

成果は

**問** 総合産業化の評価と成果は。また、農業産出額は上がったのか。

**答** 少しずつであるが成果が上がっている。

今後の振興策は

**問** 今後の農業の振興策をどう進めるのか。

**答** 一番の問題点は雪である。冬の期間をどのように農業をやりながら収入を得られるかである。これまで取り組んできたのが、花木、特に啓翁桜である。ハウス栽培ができるような体制を整備し、冬でも農業ができるようにする。

収入の増加を

**問** 兼業農家や自給的農家も毎月収入を得られるようにすべき。

**答** 直売所には、冬も可能なタラノメ栽培等の研究をお願いしている。そのための支援を今後行なっていく。

総合産業化

**問** 総合産業化を今後どう進めるのか。

**答** いかにか付加価値を付けて商品化、さらには収入に結び付けるかである。それと合わせて、米に替わる作物をどうするかであり、一番手掛けてきたのがそばである。これをさらに観光、食文化に結び付け、今後

の総合産業化を進めていく。

直売所

**問** 直売所を町外や県外にも設置してはどうか。

**答** 仙台圏へのアタックの仕方が重要である。今後さらに研究する。

戦略の見直しを

**問** 成果が上がらない。今までのやり方ではなく、戦略の見直しをやるべきと思うが。

**答** 総合産業の最終到達点は1次産業が5年、10年かかる。それをさらに2次産業、3次産業に結び付けていくことになるので、並大抵の仕事ではない。町の総合産業をさらに検討を加えながら行なっていく。

西川町農業粗生産額

単位：千万円

年度	総額	内 訳					
		米	野菜	果樹	花卉	畜産	その他
平成17年	64	32	8	8	4	10	2
平成18年	62	33	8	7	4	9	1
平成26年	37	16	4	4	4	4	4

平成17年・18年は山形農林水産統計年報  
平成26年は町推計  
端数処理により総額は一致しない

6人の一般質問

6人の一般質問



# 一般質問

## 銘水館 リニューアル後の経営を問う

町長 現在専務となり得る人と交渉している



佐藤 耕二 議員

**答** 特定はしているが、相手の会社等の関

**問** 町長は、「町内事情に精通した経営経験者を、遅くとも27年度中に任命したい。」と11月の臨時会で答弁した。現在の状況を確認したい。

### 専務の人事

銘水館は、現在3億8800万円をかけてリニューアル中であり、4月末のオープンを目指している。今後、西川町総合開発株式会社が健全経営ができるように、今までの町長の答弁から次の観点で質問をする。

### 通年販売は可能か

**問** 26年9月定例会の一般質問で、「雪室野菜等の冬期間生産を強化するため、現在直売所と協議している。」と答弁している。28年度の冬季販売の見通しは。

**答** すべて調整ができれば、議会にも報告し交代をしたい。

### 27年3月定例会で

町長は、「進捗状況は議会に報告する。」と発言しているが、いまだに報告がないのはなぜか。

### 26年9月定例会の

一般質問で、「雪室野菜等の冬期間生産を強化するため、現在直売所と協議している。」と答弁している。28年度の冬季販売の見通しは。

### 26年9月定例会の

一般質問で、「雪室野菜等の冬期間生産を強化するため、現在直売所と協議している。」と答弁している。28年度の冬季販売の見通しは。

### 27年3月定例会で

町長は、「進捗状況は議会に報告する。」と発言しているが、いまだに報告がないのはなぜか。

### 27年3月定例会で

町長は、「進捗状況は議会に報告する。」と発言しているが、いまだに報告がないのはなぜか。



銘水館工事中を視察する産業建設常任委員会

### 27年9月の定例会

で、「産業振興課の一部を銘水館内に移転

### 27年9月の定例会

で、「産業振興課の一部を銘水館内に移転



▲完成した銘水館

**問** 西川町の顔であるし、町が水にこだわった町づくりとして最先端を担ってきた商品であるので、存続すべき商品である。28年度ペットボトルのラベルを変更したい。販路の拡大が重要である。

### 27年9月の定例会

で、「産業振興課の一部を銘水館内に移転

### 月山自然水

**問** 「自然水は、町のこだわりの商品なので赤字でもやむを得ない。」と26年12月の定例会で答弁している。一般会社では赤字部門だからこそ改善する。今後の考えを。

**答** 先日、27年度の事務改善答申書が提出されたが、この中には産業振興課の一部移転については示されていない。第3セクターと行政の役割の明確化を図り、さらには第3セクター本来の役割を強化するための人的強化支援を進めていきたい。

### 27年9月の定例会

で、「産業振興課の一部を銘水館内に移転

# 一般質問

## 町立病院 経営について問う

町長 収益の減少は入院患者の大幅な減少による



大江 広康 議員

### 一般会計からの繰入

町内唯一の病院として私たち町民の健康を守るとりでとして関心のあるところである。

**問** 一般会計からの繰入額は、平成25年には2億3500万円、26年には3億1千万円に膨らんでいるのはなぜか。

**答** 最大の要因は、入院患者の大幅な減少による収益の減少である。

### 役割について

**問** 高度な技術を持っている先生方、その

**答** 最大の要因は、入院患者の大幅な減少による収益の減少である。

### 整形外科は

**問** 町民の声として、町立病院に整形外科があれば楽になるという声もある。

して医療機器の設備もある病院なのに、他の病院に移送しているのが少なからずあるのではないか。町立病院で対応できないのか。

### 利用者は

**問** 27年度に救急・透視健診・訪問リハビリ等利用者はどれくらいあったか。

リハビリ室には、装置器具だけでなく、理学療法士が常勤しているので、当院で治療してほしい。



▶病院入り口の表示板

### 27年度に救急・透視

健診・訪問リハビリ等利用者はどれくらいあったか。

**答** 年度途中なので、26年度で回答する。救急車による搬入転送は入院が39件、転送が30件で計69件である。

### 未収金の対策は

**問** 病院改革プランの中に未収金対策を強化とあるが、現在の状況はどうか。

透視は延べ数で入院が430人、外来が2409人、計2839人である。健診は1泊ドックが148人、1日ドックなど各種健診が1062人、計1260人である。訪問看護は228人、訪問リハビリは56人である。

### 方向性は

**問** 新たな町立病院の方向性の対策はどのように考えているのか。

**答** 検討していることが3つある。  
①接遇の改善を継続すること。トイレの改修、玄関の下足の問題解消である。  
②当院の長所、特徴を伸ばすことだ。内視鏡の件数が県内町立病院ではずば抜けて多く、昨年13件の胃がんを発見、ほとんどが早い時期のものであった。また、血液透析をしていること、町外からも患者が来ている。  
③電子カルテの導入である。レントゲンやCT、超音波、内視鏡の検査画像が瞬時に転送されるシステムで、早い診断ができ、説明がしやすくなるし、経営の面でも効率化が図られる。



# 追跡調査 part 7 進んでいるか 政策提言の進捗状況を追う

平成26年12月に町長に対し政策提言を行なった。町は提言を受け、27年度どのように事業を展開したのか、主な項目を検証する。

## 西川町流雪溝が供用されている地域と場所

	名 称	字 名 等	全体延長 (m)	受益者数 (戸)
睦合地区	睦合台堰流雪溝	八木沢	858	16
	熊野流雪溝	熊野	360	27
	五百刈堰流雪溝	北梅沢	447	44
海味地区	大下堰流雪溝	大下	612	42
	第2大下堰流雪溝	大下	300	18
	第3大下堰流雪溝	大下	440	12
	海味大堰流雪溝	海の宿	689	47
	太郎山岸流雪溝	山岸	157	7
間沢地区	間沢流雪溝	下堀	744	43
	下堀裏流雪溝	下堀裏	140	3
	間沢地区西部流雪溝	東～下堀	1,302	33
	上間沢地区東部流雪溝	東	335	25
吉川地区	吉川坂の上流雪溝	坂の上	1,093	51
	下河原流雪溝	下河原	765	26
	久保流雪溝	久保	320	13
沼山地区	田代流雪溝	田代	257	9
綱取地区	綱取流雪溝	綱取	515	16
	第2綱取流雪溝	綱取	141	5
水沢地区	水沢流雪溝	水沢	484	26
	水沢流雪溝	上原	321	10
	横岫流雪溝	横岫・坂下	944	15
岩根沢地区	岩根沢流雪溝	岩根沢	172	12
本道寺・月岡地区	本道寺流雪溝	本道寺	923	20
	月岡流雪溝	月岡	804	15
志津地区	主要地方道大江西川線流雪溝	志津	220	10
	合 計		13,343	545

## 自主防災組織

平成28年度で12地区全域に自主防災組織が設立された。議会では、早期の組織化を図るよう提言してきたので喜ばしいことである。しかし提言にもあるように、今後形骸化マンネリ化しないよう効果的な訓練等の諸活動を支援すること。またリーダーの育成や研修の充実を図ることが重要になる。各地区と町が連携してさらなる安全安心な町づくりを望む。

## ★総務厚生常任委員会 ★安心安全なまちづくり委員会

## 大規模災害への 防災対策の強化

議会では、確実に情報が地域住民に行き渡る方法として、同報系防災行政無線の早期設置を求めた。

町は、28年度に設置・運営を目指す計画だ。これにより迅速な情報伝達で、大規模災害等に活用する。

### 同報系防災行政無線

西川町役場の親局から直接又は中継局から無線電波を通じて、屋外拡声スピーカーから放送が流れます。町内一斉放送・地区別放送が出来ます。



## 産業建設常任委員会

## ★住民こやせしる除雪委員会

## 家の前に雪を置かない除雪体制

高齢者世帯だけでなく、各世帯の住宅入口前に可能な限り雪を置かないように提言しているが、高齢者世帯さえ不十分だ。

町は福祉座談会で意見を集約しているが、早急な対応を望む。

## 流雪溝の設置

清流寒河江川が町の中心を流れているが、水利権の問題があり、流雪溝として利用されていない。

議会は県や国に要望して、水利権の問題を解決するよう提言してきた。

しかし、いまもって町からは何ら回答がない。

雪国西川町は、流雪溝はやさしい除雪に欠かせない施設なので早期の解決を望む。



▶ 間沢地区内の流雪溝

## 議会研修会

## 議員はこんな勉強会をしよう

西川町議会議員は、議会と議員の質を高めるため毎年いろいろな勉強会をしたり、研修会に参加しています。今回はその一部を紹介します。

### 村山地方町村議会 議員合同研修会

村山地方7町の議員が一同に集まり、年1回定期的に研修会を行います。

1月14日に、東京農業大学の木村俊昭教授から「町村議会が今やるべきこと」の演題で町づくりの基本や、地場産業振興のポイント等の講演を受けました。

### 町村議会広報クリニック

全国町村議会議長会が主催するクリニックが、7月8日に東京の全国町村議員会館で行われました。全国から67町村議会の担当者が集まり、山形県から唯一本議会の「西川町議

会だより92号」がクリニックを受け、高い評価をいただきました。

### 西川町議会研修会

2月9日、議会主催の研修会を役場会議室において、山形県農林水産部長の若松正俊氏から「やまがた森林ノミックスの進捗について」として講演をしていただきました。

当日は、全議員と役場職員や森林組合の方からも出席していただきました。西川町でも、西山杉の生産・利用の拡大に努めることが重要です。議会でも、町産材をいかに活用していくのか、町と一緒に考えていきます。



▲若松農林水産部長

平成28年度流雪溝整備予定箇所  
町道南金沢口線（通称：南梅沢線）流雪溝工事 864m 一部施工 用地買収  
町道下堀裏線流雪溝工事 実施設計





西川中学校

第14回 卒業式



◀お別れの合唱



▲ハイチーズ



▲おめでとう



◀もう卒業  
なんだね…

▼卒業しても大切な仲間



**議会へのおさそい**

皆さん傍聴して  
みませんか

インターネットでも  
ご覧いただけます

**次回定例会は  
6月です**  
(6月6日～10日の予定)

編集後記

雪の少なかった冬も終わり、新しい年の旅立ちに夢を抱き、新入学を迎えた小さな子どもたち。中学校に高校と夢は大きく膨らむ節目の春。

子どもたちは西川町の自然から多くの栄養を吸収し、たくましく大海へと歩み出します。荒波の中、勉強や仕事を体験し、力をつけてふるさとに戻る若者たちにスムーズに世代交代ができるよう、議会人として、町民の一人として努力していきたい。

(奥山 敏行)

《発行・編集責任者》

議長 伊藤 哲治

《編集委員》

委員長	佐藤 耕二
副委員長	飯野 咲子
委員	奥山 敏行
委員	大江 広康

●ご感想お寄せください。